

# Cisco ESA/GUI への新しい PKCS#12 証明書の追加/インポート

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[問題](#)

[回避策](#)

## 概要

このドキュメントでは、新しい公開キー暗号化標準規格 ( PKCS ) #12 の証明書を Cisco E メールセキュリティ アプライアンス ( ESA ) の GUI で追加またはインポートする方法を説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ESA
- AsyncOS 7.1 以降

### 問題

AsyncOS 7.1.0 以降では、E メール アプライアンスの GUI で証明書の管理と追加ができます。しかし、この新しい証明書は PKCS#12 形式である必要があります。それで、認証局 ( CA ) の証明書を受け取った後、いくつかの追加手順が必要です。

また、PKCS#12 証明書の生成には秘密キー証明書が必要です。Cisco ESA CLI コマンド `certconfig` から証明書署名要求 ( CSR ) を実行すると、秘密キー証明書が受信されません。GUI メニュー ( [Mail Policies] > [Signing Keys] ) で作成された秘密キー証明書は、PKCS#12 証明書とともに生成するときに無効になります。CA 証明書。

## 回避策

1. ワークステーションに OpenSSL アプリケーションをまだインストールしていなければ、インストールします。Windows バージョンは [ここ](#) からダウンロードできます。OpenSSL Win32 のインストールの前に Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージがインストールされていることを確認します。
2. [ここ](#) にあるテンプレートを使用して、CSR と秘密キーを生成するスクリプトを作成します。次のようなスクリプトになります。openssl req -new -newkey rsa:2048 -nodes -out test\_example.csr -keyout test\_example.key -subj "/C=AU/ST=NSW/L=Sydney/O=Cisco Systems/OU=IronPort/CN=test.example.com"
3. スクリプトを OpenSSL のウィンドウに貼り付け、Enter を押します。

```
C:\OpenSSL-Win32\bin>openssl req -new -newkey rsa:2048 -nodes -out test_example.csr -keyout test_example.key -subj "/C=AU/ST=NSW/L=Sydney/O=Cisco Systems/OU=IronPort/CN=test.example.com"
```

出力：

```
test_example.csr and test_example.key in the C:\OpenSSL-Win32\bin or in the 'bin' folder where OpenSSL is installed
test_example.csr = Certificate Signing Request
example.key = private key
```

4. CA 証明書を要求するために .CSR ファイルを使用します。
5. CA 証明書を受け取ったら、それを cacert.pem ファイルとして保存します。秘密キーファイル test\_example.key の名前を test\_example.pem に変更します。ここで OpenSSL を使用して PKCS#12 証明書を生成できます。

コマンド：

```
openssl pkcs12 -export -out cacert.p12 -in cacert.pem -inkey test_example.pem
```

使用する CA 証明書と秘密キーが正しければ、OpenSSL は Export Password を入力するようにプロンプトを表示し、さらに再入力してパスワードを確認するように求めます。もし正しくなければ、証明書とキーが一致せずプロセスを続行できないことが表示されます。

Input:

```
cacert.pem = CA certificate
test_example.pem = private key
Export password: ironport
```

出力：

```
cacert.p12 (the PKCS#12 certificate)
```

6. IronPort GUI メニューの [Network] > [Certificate] に移動します。

[Add Certificate] を選択します。

[Add Certificate] の [Import Certificate] オプションを選択します。

[Choose] を選択し、ステップ 5 で生成された PKCS#12 証明書の場所を参照してファイルを選択してください。

OpenSSL の PKCS#12 証明書を生成したときに使用したパスワードを入力します。(この例ではパスワードは ironport です)。

[Next] をクリックします。次の画面には、証明書に使用されている属性の詳細が表示されます。  
**Submit** を選択します。  
[Commit Changes] を選択します。

これらの手順を完了すると、新しい証明書が証明書一覧に追加されて使用可能になります。